

なぎそ 議会だより

12月定例会・全員協議会



12月15日
厚生労働省へ要望

医政局の神田局長（写真左から2番目）と面談しました。



12月14日
県、県議会へ要望

南木曾町からは町長、議会議員全員が参加し、大桑村からは村長、議長、副議長が参加しました。

議会の眼：坂下病院問題が進展するなか、12月15日に町長と全議員で厚生労働省に地域医療の支援をして欲しいと要望書を届けました。
詳しくはP.32の報告をお読みください。

12月定例会で審議した議案： 多目的集会施設等の設置に関する条例の改正など	……	19P～20P
一般質問： 9人の議員が質問	……	21P～25P
補正予算審議： 主な質疑（蘇南高校下宿先、保育料、下水道資産台帳作成など）	……	26P～27P
全員協議会： 議会と町の意見交換（放課後子ども教室、実施計画など）	……	27P～31P
南木曾の地域医療について県や国へ要望書を提出	……	32P

平成29年 明けましておめでとうございます



南木曾町議会議員

山崎 隆二

平成29年酉年の年頭に当たり、議長としてご挨拶申し上げます。
 昨年、4月に議会議員選挙と町長選挙が行われ、現在の議員10名と向井町長が選出されました。

町当局では10月1日から新しい組織機構が発足していますが、議会も新しい議会構成の下で、精力的に議会活動が展開されています。

総務文教委員会では学校・病院などの問題を、経済観光委員会では様々な建設関連と環境問題に取り組んでいるほか、国道256号、国有林、リニア対策にも特別委員会を設けて協議を重ねています。

また、議会報編集委員会では、定例と臨時の議会や全員協議会が開催されるたびに編集会議を持ち、議会と町とで行われる議論の内容をできるだけ詳細に住民の皆さんへ提供するように努めています。

議会のあり方研究委員会では、11月に地域医療に関する勉強会と坂下病院を中心とする課題について住民懇談会を主催しました。

南木曾町議会議員は手分けをして木曾広域連合議会、松塩筑木曾老人福祉施設組合、監査委員、妻籠宿保存審議会、国保運営協議会、表彰審査会、防犯協会、社協評議会、右岸道路委員会、リニア対策協議会、地方創生戦略会議、民生委員推薦委員会などにも参画しているほか、地域の祭事、近隣市町村議会と連携して行う県や国の関係機関への要望活動や、陳情・請願の審議なども行い、わずか10人の議員ですが精力的に様々な課題に取り組んでいます。

昨年は特に、坂下病院問題が大きな課題でしたが、議員懇談会や住民懇談会を重ね、住民の声を反映すべく、県の健康福祉部と厚生労働省さらに地元選出国会議員への要望活動に議員全員で出向いたことを特筆したいと思います。

平成29年も引き続き病院とリニア問題が大きな課題ですが、議員一同、様々な課題に精力的に取り組む、迅速に対応するよう議会をリードしていきたいと思っております。

多種多様な議会活動が行われていることについて、住民の皆さんがご理解され、ご協力いただけますようお願いしたいと思います。

12月定例会 審議議案

● 税条例等の改正

地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴う改正です。

● 国民健康保険税条例の改正

所得税法等の一部を改正する法律等の公布に伴う改正です。

● 多目的集会施設等の設置に関する条例の改正

町が設置・管理する集会所施設について、名称等の整理を中心とした改正です。

● 区等集会所施設整備事業分担金徴収条例の改正

地区集会所を新築、改築、増築する場合の地区分担金に関する内容を整理した改正です。

● 簡易水道条例の改正

簡易水道事業の認可統合に関する名称と給水区域の改正及び、新設手数料と再開手数料の改正です。

● 財政調整基金の処分

震災復興特別交付税返還金及び平成28年度秋雨前線豪雨災害復旧事業の財源に充当するため、財政調整基金を2千5百万円取り崩し28年度一般会計予算に繰り入れするものです。

● 町有林野営事業計画の承認

平成29年度の町有林野営事業計画は、崩壊防止工(田立下安)20m、除伐(天白)3ha、間伐(与川日陰ボケ・妻籠西山)13ha、作業道開設(日陰ボケ・西山)900mで、総事業額は、1660

万円です。

●専決処分事項の報告

事故の和解及び損害賠償の決定

町道を走行中、側溝のグレーチングが跳ね上がり車体を損傷させた事故についての報告です。

請願・陳情

①地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について(依頼)

国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を要望するものです。

提出者

長野県町村議会議長会
会長 久保田 三代

結果

継続審査

【説明】議員の年金についてはこれまで多

くの議論があり、さらに検討が必要としました。

②国の責任による35人

学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願書

義務教育標準法改正を含む教職員定数改善計画を策定し実行することや、教育予算の増額、国の複式学級の定員の引き下げを要望するものです。

提出者

南木曾町単位組合
代表 牧野 裕子
紹介議員 松原 崇文

結果

採択・意見書送付

③義務教育費国庫負担

制度の堅持を求める請願書

教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に還元することを

要望するものです。

提出者

南木曾町単位組合
代表 牧野 裕子
紹介議員 松原 崇文

結果

採択・意見書送付

④地域医療の充実を求める要望書

都市部から離れた地域の医師確保、適正な病院配置の維持、地域の医療機関や拠点病院の充実のための財政支援を要望するものです。

提出者

南木曾町の医療を守る会
呼びかけ人代表 松原 ひろみ

結果

趣旨採択

【説明】要望事項はいずれも地域の願いです。今回は町と議会で厚労省や県に直接要望することが決まっていたため趣旨採択としました。要望活動の概要

は別項に報告しました。(p32参照)。

木曾広域連合
議会報告

木曾広域連合11月定例会の主な内容は次のとおりです。

●職員給与に関する条例の改正
人事院勧告に基づく改正です。

●副管理者の給与及び旅費に関する条例の改正
人事院勧告に基づく改正です。

●平成28年度一般会計補正予算(第3号)
17万8千円を追加し総額41億3528万円となりました。主に障害者総合支援システム番号制度対応総合運用の追加テスト経費によるものです。

るものです。

●平成28年度介護保険特別会計補正予算(第3号)
359万8千円を追加し総額42億6601万円となりました。主に番号制度対応総合運用の追加テスト経費によるものです。

松塩筑木曾
老人福祉施設
組合議会報告

松塩筑木曾老人福祉施設組合11月定例会の主な内容は次のとおりです。

●平成27年度一般会計歳入歳出決算認定
歳入合計45億8738万9129円(前年度比3.4%増)、歳出合計45億2047万1326円(前年度比3%増)で、実質収支は6691万7803円の黒字決算になっています。

●情報公開条例の一部改正と、個人情報公開条例の一部改正「行政不服審査法」の施行に伴う改正です。

●情報公開・個人情報保護審査会条例
新たな条例で、審査会の任務・組織等について「塩尻市情報公開・個人情報保護審査会条例」を準用します。

●平成28年度一般会計補正予算(第1号)
2660万円を増額し、総額47億6460万円となりました。

主に人件費、臨時職員賃金等の経費や施設の維持・管理運営の経費などです。

●その他

あすなる荘のせせらぎ棟の改築計画について、坂下病院の規模縮小の問題が生じているため、組合としてはその動向をみて改築内容を検討する、という主旨の報告が全員協議会においてありました。

12月定例会 9人の議員が一般質問

- ◆緊急時の広報（高橋） ◆リニア新幹線（矢澤） ◆定住化施策・全国学力テストと学力向上（近藤）
- ◆地域主体性・有償ボランティア・農地調査・リフォーム（赤坂）
- ◆小規模水道・介護支援・リニア残土（坂本） ◆坂下病院の今後（伊藤）
- ◆地方創生交付金・地域おこし協力隊（松原） ◆全国学力、学習状況調査（早川） ◆坂下病院の縮小（北原）

※一般質問の質疑内容は各議員の編集によります。



高橋 進

緊急時の 広報について

質 防災行政無線放送は、今回デジタル化に伴う工事が進められている。今までは分館等の拡声器から遠く離れた所は聞き取ることができなかった。今回新しくなることにより町内全域を網羅できるようになるか伺う。

答 町内は広大な面積、複雑な地形であり全町へ向けての拡声器設置は費用もかかります。今まで通り各戸の屋内放送を重点に進めますが、必要な箇所についてはできる範囲での整備も必要と思います。

質 野良仕事や道路を歩いている時にも熊の出没や災害の情報が必要だ。聞こえない

答 今回の更新にあたり多くの要望もあり、集会所や消防ポンプ庫などに拡声器を取りつけたいと考えています。

質 区長や消防団からも情報をもらい、より広い範囲で聞き取れるようお願いする。

答 拡声器の出力については検討しているところです。また、各戸の個別受信機は乾電池を予備電源とし、録音機能も検討しています。

質 中山道を馬籠峠から与川峠方面へ歩く外国人観光客も多く、災害や熊の出没を英語などでお知らせすべきと思うが。

答 国の方針などを参考に対応していきたい。観光客もいろいろな国から来ているため言語については

困っています。何らかの方法でお知らせしなければとは考えています。

質 携帯電話などを使ってエリアメールの拡充も必要と思うが。

答 エリアメールについては、災害（火山、地震、風水害）発生時や予報時の避難確認のみの使用に限られています。今後、活用方法が拡大されることに期待しているところです。

意見 町民をはじめ、訪れる観光客のためにも安心安全なまちづくりを推進してほしい。



屋外拡声器による広報



矢澤 和重

リニア新幹線について

質 リニア新幹線も、長野工区の南アルプストンネルと、愛知県での名城非常口が、着工したのに続いてリニア名古屋駅と、岐阜県瑞浪市での日吉トンネルが、着工することになった。新幹線の効果の是非は別として、国が認可した事業から一部の強い反対があったりも、中止になるとは考えられない。新聞でも、何のリスクもないところでの他の地区では、推進に向けて積極的にリニア効果を甘受すべく行動をしている。わが町は、当然工事期間中の住民生活や、工事終了後の住民生活への影響など、リスクが危惧されるので、その方面で協議会を中心と

した活動をしている。JR東海との今日までのリスク低減の進捗状況を聞く。

答 JRは当初、環境保全に関する協定書締結は全く考えていないとしていましたが、町に対して文書を取り交わす考えを持ってきていることを伝えてきており、若干変わってきています。また、水資源や補償等その他の課題についてJRの考え方がある程度明確化してきましたが、対策協議会の考えとか、離れている部分もあります。少しでもJRの考えが住民意向に近づけるよう交渉を進めていきたいと考えています。

質 土捨て場について、長野県が町に入り候補地を探すと、当初の県の対応の進捗状況を聞く。

答 当初町では、地形を考慮すれば180万立方メートルの残土を受け入れることは

困難として候補地の該当はなしとしています。現在も未定の状況です。11月に長野県とJRから、土量の如何に関わらず可能な範囲内での受け入れ依頼がありました。大鹿村のように文書締結の話もあり、対策協議会で協議し、候補地を募集することにしました。

質 町として将来を見据え、JR東海とは工事に伴うリスク低減策だけでなく、工費用施設の後利用やJR在来線の利便性アップを図れるような協議が必要と思うが。

答 その通りですが、現状の対策協議会では、工事に伴うリスク低減を優先して協議しています。リニアの活用について、今後、協議会の進み具合をみながら商工会などと連携し検討していきたいと考えています。

意見 高齢者や大きな荷物を持った外国観光者のためにも工

国観光者のためにも工

レベーターの設置を、県や町の補助でJRにお願いするべきではないか。

答 また、和合側にも乗降口を設置するよう、今から議会共々計画を立てて進めていくべきではないか。町の計画にも入れておく必要がある。



南木曽駅のホームに渡る昇降階段



近藤 隆

定住化施策について

質 環境整備で各世代や利用者に合

帯や利用者に合

わせた町営住宅の整備や入居基準を改善していくことになっているが、具体化しているか。

答 今年度、天白住宅の取壊しを1年前倒し、来年度には若い人を対象とした住宅の建設をしたいと考えています。所得に対する若者世帯への定住支援は、定住対策を総合的に検討する中で考えていきます。

質 現在も入居時に風呂を自分で持ちこまなければならぬ町営住宅あるか。

答 ありますが、今年度は住宅の長寿画に計画に基づき、深山団地と本町団地のユニットバス化を行います。

質 小規模菜園付住宅や畑付借家などの魅力ある住宅・空き家施策はどこまで具体化しているか。

答 まだ具体化されていません。

質 現在リフォーム補助金はあるが、新築に対する補助制度はできないか。

答 財政的な面も考え研究中です。

質 今後、定住を進めていく上で宅地造成が必要と思う。神戸団地の南側には、広い農地等があり、一部の地主さんからは、町のためなら協力を惜しまないという意向が、宅造事業地として考えられないか。

答 現在、各地区にミニ宅造可能な候補地を探しています。条件の整ったところから順次ミニ宅造事業を実施していきます。

意見 候補地は住民の慮し、人口減対策は喫緊の課題である。早急の対応をお願いする。

質 全国的に学習塾へ行っているかが学力差につながっているといわれている。王滝村では、村、地域おこし協力隊と学校法人が連携して学習塾事業を開業している。町でも子どもの基礎学力向上に向けた学習塾を開設できないか。

答 当面は、小・中・高の連携を図りながら基礎学力向上に取り組みます。塾につきましては、検討していきます。

全国学力テストと学力向上に向けて

質 学力テストの目的は何か。

答 学力と学習状況を分析して学習方法等の改善を図るのが主な目的です。

意見 町の学力テストの傾向と課題や授業方法の改善内容の公表ができるように検討して欲しい。

質 全国的に学習塾へ行っているかが学力差につながっているといわれている。王滝村では、村、地域おこし協力隊と学校法人が連携して学習塾事業を開業している。町でも子どもの基礎学力向上に向けた学習塾を開設できないか。

答 当面は、小・中・高の連携を図りながら基礎学力向上に取り組みます。塾につきましては、検討していきます。

質 今年度子ども教室が新たな場所で開設されるが、子どもの居場所づくりと併せて、地域おこし協力隊などの協力も得ながら学力向上に取り組みできないか。

答 地域の方へも協力いただき研究していきます。

質 基礎学力向上に向けての町長の考えはどうか。

答 町の将来を考えるにあたって教育は欠かせないものです。教育現場に携わる学校と教育委員会の意見を大切にしながら、基礎学力向上は重要な課題で、町としてできる支援は積極的に協力していきたい。

意見 児童・生徒の学力向上に向けた施策により、蘇南高校のレベルアップ、存続、町の発展振興につながっていくと思うため、基盤づくりをお願いする。

答 児童・生徒の学力向上に向けた施策により、蘇南高校のレベルアップ、存続、町の発展振興につながっていくと思うため、基盤づくりをお願いする。



赤坂 孝

**地域の主体性
繋がりについて**

質 各地域への財政的、人的支援の内容及び件数と、水平展開できた活動や課題は。

答 財政支援は毎年3万円の運用交付金、人的支援は事務局として、地域担当職員を支援しています。水平展開の事例は除雪機を購入（蘭・広瀬・北部）しました。課題は、住民が作業を行うので、高齢化に伴い作業が限られてくる事です。

**有償ボランティア
制度の
導入について**

質 具体的な有償ボランティアの定

義と活動状況は。

答 対価のある場合のボランティア活動をいいます。社協に生活支援コーディネータを配置し、町の委託業務として事業を行っています。

サービズ利用希望者と有償ボランティアのマッチングを行います。現在、登録者人数は59名、利用登録者19名です。活動内容は、草取り、家事援助、今後は定期的に雪かきの希望があります。

**農地現況調査に
ついて**

質 全国農地ナビで公開し、担い手確保や耕作農地放棄状態の解消について効果はあったのか。

答 登録はしていますが、放棄解消につながる件数はありませんでした。

意見 良いシステムなので今後も、発

信してもらいたい。

**リフォーム対策に
ついて**

質 リフォーム対策の件数、補助金の内容など具体的な現状は。

答 平成23年度より実施し、平成29年度までの時限立法制度で、平成27年度までに82件、補助金額1379万円、商品券の補助160万円を行いました。

補助金の内容は、工事費30万円以上で町内事業者が請負う住宅リフォームに対し、補助対象工事費の10%を補助します。限度額は20万円です。平成26年度から町内商店の支援を目的に補助金額の30%を商品券で交付しています。具体的には、工事費200万円、内訳は商品券6万円・現金14万円となります。

意見 リフォーム補助なのにリフォーム工事に使用できない。商品券の使用できる加入店の拡大及び利用期間の延長など検討見直しをお願いする。



坂本 満

**小規模水道の
課題、意見交換の
場が必要**

質 小規模水道は、昨年度19施設、157戸、433人が自ら管理をして利用している。

答 各施設とも管理には大変な苦労があると思います。できるところは町簡水に思いすが、地域の実情、水利権、地形、資金など課題があります。利用者がどう考えているか、管理組合と意見交換する場を設け、今後の方向を検討して

いきます。

質 小規模水道の水質検査は。

答 簡易水道は月1回検査ですが、小規模水道には法律の定めが無く、従来から年2回の検査です。

質 最近では獣が多く、取水地の汚れも心配される。検査費は町負担にできないか。

答 今後の検討課題とします。

質 熊本では耐震化の進んでいた管路は復旧も早かったというが、国庫補助額が



小規模水道の配水施設

下がって更新が進んでいないようだ。

答 水道施設の更新は大きな課題で、如何に施設を維持していくか、施設の統合・廃止なども含め考えていきます。

介護予防など高齢者福祉への支援を

質 介護制度が変わるが、介護予防・日常生活支援事業の状況は。

答 スムーズな移行のために、通所型サービスをNPOなごそ福祉会へ委託し、試行的に行っています。

質 移行に伴うサービズ低下や負担増になつていないか。

答 多大な負担増になつたとは認識していません。パワーアップ教室と違い、運動のみでなく余暇の時間を仲間と一緒に過ごさせて好評という報告もあります。

質 運転免許返納者数は平成27年に長野県で4100人。人口比約0.2%で、町に当てはめれば9人弱が毎年返納という数になる。

質 タクシー乗車券等助成制度の対象範囲を拡充して支援できないか。

答 支援の方法などは他の事例を調べて検討したいと思えます。

**厳しい条件がある
リニア残土処理、
情報を**

質 JR東海や県から再度の要請で、残土処理候補地を探すことになった。町長の姿勢が違ってきたのでは。

答 残土の受入れは量の大小にかかわらず、捨てる場合は一定の責任を持つ、文章による確約も考えているとJRから依頼がありました。残土処理が決まらない中で仮

の話ばかりではないけなので、候補地公募を取らせていただきました。

質 環境影響評価書や、早川町や大鹿の保全計画を見れば、第三者にかなり厳しい条件だ。町が関わった以上は、この点の精査が必要ではないのか。

答 交渉の中で条件が不適切となれば断るべきで、大小に關係なく判断すべきと思つています。全て受入れということではなく、住民の意見、専門家の意見も聞きながら判断が必要だと思つています。

質 リニアの課題については、住民への周知、情報の提供という点が足りていない。

答 年明け1月か2月に町から報告すべきことを報告して、直接住民の皆さんの不安や質問などをお聞きする予定でいます。



伊藤 寿子

坂下病院問題の今後について

質 今月は、いよいよ中津川市長による方針が決定され、一つの区切りを迎える。

答 6月以降、外科診療の閉鎖、時間外救急の日時指定と、中津川市のいうシナリオ2にどんな近づいているように思われる。今後、坂下病院が診療所となった場合、町として、特に救急医療、入院機能面でどう考えているか。

答 診療所となった場合、救急及び入院は、木曾病院や中津川市民病院へお願いすることにします。まずは、方向性を見極め、考えていきたいと思つています。

質 木曾病院や市民病院と話し合っ

ているか。

答 木曾病院、市民病院とは情報交換しています。

質 町は平成13年から平成22年までに移転新築事業費として7963万円負担しており、救急医療費負担金は年間470万円に及ぶ。もし診療所化したならば、これらをどの様に考えているか。このまま黙っているのか。

答 当然、中津川市へは伝えるべきことは伝えるということでは話してきています。ここに至るには様々な要因があります。地域医療の中核病院として建設費用を負担してきた経緯もふまえて、今までもいろいろな立場から意見や要望を言ってきました。

質 以前は坂下病院との協議会があったようだが近年はなぜ無くなったのか。

答 あくまで建設費及び救急費用負担金の協議会であり、経営に関わるものではありません。

意見 いずれにしても、これだけ坂下病院に依存してきたのだから、何らかの形で関わっても良かったのではないかと。そうすれば、突然の通知に驚くことにはならなかったと思う。明日から県と国へ要望に行くが、町民が医療難民とならないような施策を考える必要があり、町長には強いリーダーシップを発揮して欲しい。

答 交付金を使う場合は、地域再生計画を新たに作成する必要があります。

質 子どもたちのために使えないのか。地域再生計画にどのように盛り込むかですが、ただの補助的な物では無理と考えます。独自性のあるものは認められると思つていますので、いろいろなアイディアを出していくことが必要と考えます。

質 現在の募集状況も含めた状況は、地域おこし協力隊員は、現在3年目が女性2名、2年目が男性1名女性1名、1年目が女性1名で、本年度の募集は、4名の応募があり、12月17日に面接を行い、若干名を4月1日に採用予定です。また、今回の



松原 崇文

地方創生交付金について

質 内容を変えていくことは可能か。可能ですが、新しい分野につい

地域おこし協力隊について

質 現在の募集状況も含めた状況は、地域おこし協力隊員は、現在3年目が女性2名、2年目が男性1名女性1名、1年目が女性1名で、本年度の募集は、4名の応募があり、12月17日に面接を行い、若干名を4月1日に採用予定です。また、今回の

交付金を使う場合は、地域再生計画を新たに作成する必要があります。

募集については、木工芸技術の習得という内容等を中心に募集しました。

質 今後の募集について、産業関係から、子どもの教育関係に携われる人に変えていくことは可能か。

スポーツ、美術など文化的なことでもよいので、子どもたちのためになる人を募集できないか。

答 任期終了後も残っていたくのが大きな目標です。今回木工に関わる職人を養成し、終わった後受け入れ先の見通しもある中でこのような募集にしました。教育についても活用できることは活用していきたいと思っております。で、検討していきます。



早川 親利

全国学力・学習状況調査について

質 学力等の状況調査の目的を伺う。

答 基礎学力・応用力・生活実態調査を行っています。

質 テストの結果を公表しているか。

答 公表していません。

質 全国や長野県の結果は公表されているか。

答 木曾郡の結果は公表されていません。

質 テストの結果をどのように評価し、今後に役立てていくか。

答 学校内で分析し、授業改善に役立つ。

てしています。

質 教育委員会も結果は承知しているか。

答 教育委員会でも、テスト結果と各学校での分析結果を把握しています。

質 教育委員会では、テスト結果や学校の分析結果をもとに学力向上に向けてどのような対策を考えているか。

答 町内の保育園・小学校・中学校・高校の先生が集まる研究会で、それぞれの分野に分かれ学力向上に向けての取り組みを話し合う機会を持つなどしています。

質 研修会ではどのような議論がされているか。

答 例えば、高校生年代での学習の課題傾向を踏まえて、小中学校各年代でその土台をしっかりと教えていくことを再確認する必要があること等話し合っています。長いスパンで検証し、これからの教育に活かしたいと思っています。

質 一人ひとりの個性を伸ばして社会に送り出すことも大事だが、その前に基礎学力をきちんと身につけることが大事と思う。昔から、読書きそろばんといわれてきた。教育委員会は、しっかりと現状を踏まえ、学校と連携し、よりよい教育を行って欲しい。

質 一人ひとりの個性を伸ばして社会に送り出すことも大事だが、その前に基礎学力をきちんと身につけることが大事と思う。昔から、読書きそろばんといわれてきた。教育委員会は、しっかりと現状を踏まえ、学校と連携し、よりよい教育を行って欲しい。

質 一人ひとりの個性を伸ばして社会に送り出すことも大事だが、その前に基礎学力をきちんと身につけることが大事と思う。昔から、読書きそろばんといわれてきた。教育委員会は、しっかりと現状を踏まえ、学校と連携し、よりよい教育を行って欲しい。



北原 隆光

坂下病院の縮小はいつか

質 中津川市から坂下病院改革プランが提案された。病院の規模縮小、医療機能体制が3月に決定すると聞くが、決定した場合、いつから実施されるのか、町民が一番困ると予想されることは何か、町の対応を聞く。

答 町民の皆さんに不安を与えたまま生活することのないよう努めることが行政の役割と考えています。計画では5年後を見据えています。前倒しの可能性もあると解釈しています。

質 その点について町の対応を伺う。

答 中津川市の方針が出されていますので、方向性が出てから皆さんの意見も聞きながら協議していきたいと考えています。

る。病院の医療計画はもっと早期（5〜10年前）から実施し、近隣町村への情報と協力を求めるべきであったと感じる。町として病院経営に対する市への取り組みと考え方を伺う。

質 経営の悪化には、様々な原因があると思います。経営のあり方についても問題があるかもしれませんが、町へも情報が入らなかったこと、意見を言う場をつくれなかったことなども要因のひとつかもしれません。町は直接経営に関わっていませんのであれこれ言う立場にはありませんが、一番の問題である地域医療と医師確保に町自身、町民と一緒に真剣に取り組む、地域福祉医療に努力しなければいけないの思いです。

質 中津川市からの報告を聞くだけでなく、協議する場を増やすことを期待する。

質 病院経営は中津川市が行っているのか、町民が一番困ると予想されることは何か、町の対応を聞く。

答 町民の皆さんに不安を与えたまま生活することのないよう努めることが行政の役割と考えています。計画では5年後を見据えています。前倒しの可能性もあると解釈しています。

質 その点について町の対応を伺う。

答 中津川市の方針が出されていますので、方向性が出てから皆さんの意見も聞きながら協議していきたいと考えています。

質 病院経営は中津川市が行っているのか、町民が一番困ると予想されることは何か、町の対応を聞く。

答 町民の皆さんに不安を与えたまま生活することのないよう努めることが行政の役割と考えています。計画では5年後を見据えています。前倒しの可能性もあると解釈しています。

質 その点について町の対応を伺う。

答 中津川市の方針が出されていますので、方向性が出てから皆さんの意見も聞きながら協議していきたいと考えています。

12月定例会 補正予算審議(抜粋)

主な質疑(蘇南高校下宿先、梨子沢除雪費、保育料軽減や給食費の助成、住宅ユニットバス設置、宅造調査費)

矢澤議員

Q 農林水産費の融資主体補助型経営体、育成支援事業の申請の内容は。

A 産業観光課長

認定農業者等がトラクター等の農業機械を導入する時に県から3分の1補助される制度です。補助残の2分の1以上は融資が必要となります。

Q 蘇南高校では、来年度も新たに下宿希望があると聞く。受験にあたり早期対応が必要ではないか。

A 教育長

同窓会と連携し、地域の協力もお願いしていきたいと考えています。

高橋議員

Q 除雪費用として、梨子沢安全協議会へ350万円増額されているが。

A 建設環境課長

合計2390万円の内訳は、今年8月と9月の豪雨災害復旧にかかる予算1190万円と、安全協議会の予算1200万円です。安全協議会の予算は散水車、警備員、ガードレールの設置が主なもので、増額の350万円は、除雪業務、散水車の委託、融雪剤等です。

Q 課題となっている読書保育園の駐車場は進展があるか。

A 教育長

災害等で進んでいませんが、調査費等を実施計画へ計上し対応していきます。

坂本議員

Q 保育料の軽減割合を2割から3割とし、未満児にも拡大できないか。また、主食費への支援ができないか。

A 教育長

保育料補助を拡大する方針はありません。主食費の助成については、保育サービス見直しの中で検討したいと考えます。

Q 小中学校の給食費無料化の検討を。

A 教育長

県下の動向も見ながら検討したいと思えます。

Q 国保は30年度に県一括の事業となる。標準税は示されたか。

A 住民課長

県から示された試算結果の納付金は一般被保険者分のみで、不確定な数字です。国から確定した数字が示され次第、国保運営協議会で検討していきます。

北原議員

Q 深山団地、本町団地のユニットバス設置

の状況は。

A 建設環境課長

深山団地は4棟8戸、本町団地は1棟3戸設置し、1戸当たり150万〜200万円、燃料はプロパンガスです。

Q 下水道事業の資産台帳整備作成事業は、国からの制度となっており多額の予算が必要だ。行う必要があるか。

A 建設環境課長

法適用化していく必要がある、固定資産台帳を整備することで、施設の更新計画の詳細が可能となります。

3つの特別会計の台帳整備事業を合算して発注し、経費を6500万円から1650万円に削減できました。

近藤議員

Q 宅造調査費用200万円の内容は。また、空き家活用補助金の実施状況は。

A 戦略室長

宅造候補地4か所の地形測量等を業者に委託します。

空き家活用補助金は、今年度1件の利用がありました。

Q 畜産振興補助金や長者畑草地組合に関する補正の内容は。

A 産業観光課長

畜産振興補助金は、町内畜産農家が新たに牛舎を作る事業費の2分の1の補助で、上限の10万円です。

長者畑草地組合へは、機械修繕費15万円です。

松原議員

Q 日赤災害訓練の詳細は。継続的に行うか。

A 住民課長

11月26日に区長を始めとする、日赤奉仕団が参加し、南木皆会館で炊き出し訓練と避難所体験ゲーム等を行いました。

訓練は好評で、日赤

平成28年12月期補正予算 (12/20可決)
 一般会計補正予算 **7947万7千円を増額**
 総額 **40億1313万5千円に**

●会計別補正予算 (単位：千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計	79,477	4,013,135
国民健康保険特別会計	△ 1,193	581,921
簡易水道事業特別会計	△ 10,723	178,799
下水道事業特別会計	△ 11,478	84,875
農業集落排水事業特別会計	△ 10,120	81,359
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	△ 286	90,931
後期高齢者医療特別会計	△ 3,175	73,885

●一般会計補正の主なもの (単位：千円)

事 業 名	金 額
固定資産台帳整備経費	1,300
宅地造成調査費用	2,000
年金生活者等支援臨時福祉給付金経費	15,600
住宅改良事業 (ユニットバス設置経費)	18,500
梨子沢安全協議会除雪費用等	3,500

奉仕団員の交代時期などでの実施を検討したいです。

早川議員

Q 天白公園の「悲しみの乙女」の像は、中学生が整備など実施しているのか。看板は見えず、ロープがあつて下へ降りていけない状況だが。

A 町長
中学生が整備とともに

Q 蘇南高校付近の自転車置き場の整備を、高校または町で対応できないか。

A 町長
要望があり、教育長と同窓会長で協議しています。

に、像の言われや災害の学習をしています。看板は整備しますが、岩の下に穴があり、危ないので入れないよう対策をとっています。

全員協議会 議会と町の意見交換

—(12月13日・20日)—

- ・放課後子ども教室 ・防災行政無線設備デジタル化更新工事 ・多目的集会施設等の設置に関する条例等の改正
- ・地方創生事業の交付金内示 ・臨時福祉給付金 ・町有林野経営事業計画 ・上下水道審議会答申
- ・上下水道事業経営戦略 ・いじめ防止対策基本方針 ・実施計画

「放課後子ども教室整備事業」について

放課後子ども教室の施設
小学校駐車場に建設を予定

2回にわたる全員協議会
今年度1月発注、
夏休み前早期の完成へ

その①
12月13日の全協

計画について

現在南木曾会館の図書室を利用し開設している放課後子ども教室の環境改善のため、小学校敷地内にプレハブ工法による施設を建設します。

建物は駐車場の池の北側を予定し、約6m×12mの鉄骨平屋切妻屋根です。
 資材調達や使い勝手などを考慮すると、今年度発注を来年度4月に変更して、秋の完成予定とする計画です。
 工事費は、備品も含めると増額となる見込みが
 見込まれます。



子ども教室建設予定地

高橋議員

Q プレハブとはどういう建物か。

A プレハブ工法と呼ばれる既製品を利用する建物で、実施計画の段階から採用している鉄骨を使った建物です。

Q 景観をどう考えるか。

A 全体の景観を考慮し切妻屋根にし、色彩なども検討しています。

Q 3間の6間半だが、木造でもできるのでは。

A 36人以上が集まる建物で、区切らずに広間で活用する計画です。

Q 4月発注なら、夏休み前には完成を。

A 資材の確保等の不透明な部分もあり秋としています。夏休み中を目標とします。夏休み中は多目的ホールを使います。

早川議員

Q 雨が降ると音がうるさいのでは。

A 屋根はアスファルトルーフィングの上にガルバリウム鋼板とし、天井に耐熱材も入れています。

意見 トイレや手洗いを外に出し広く使える

ようにし、しっかりとした良いものをお願いする。

近藤議員

Q 設計費や工事費などは6月補正で計上してあるが、ここまで遅れた理由は。

A 場所の検討、設計内容の調整などに時間がかかりました。

Q 建設費が2千万円から増額になるという理由は。

A 当初よりトイレやエアコンの増設、屋根の変更、玄関の庇などが加わっています。

Q 繰り越し事業で対応できるのではないかと

A 地盤改良を行うしつかりした工法で、簡便で一時的な建物ではありません。しっかりとしたものを作るために議論し、備品も含め、内容を練り直すために

も新年度で行ってはどうかというのが主旨です。

北原議員

Q 設計業者の選定は。

A 小学校の改築工事に関わった業者で、場所について熟知している業者へ発注しています。

Q 複数業者からの選定が必要だったと考えるが、設計の変更はできないのか。

A 9月に発注し、3月まで設計管理を契約していますので、議論を踏まえ設計変更の協議や、見積もり単価の確認などをします。

Q 場所として南木曾会館駐車場は候補にならなかったか。

A 当初は南木曾会館も候補でした。現在子どもたちはバスで会館に行くが、学校になれ

ば移動が楽になります。元々は空き教室を利用するものですが、空き教室がないため会館を利用しています。本日の意見を基に教育委員会としての考えを整理して次回の全員協議会で考えを提案します。

坂本議員

意見 学童保育は放課後子ども教室とは違った目的であるが、この施設が出来ることでの対応の検討が必要だ。

その②
12月20日の全協

13日を受けて提案

前回13日の議論を踏まえ、今年度事業として早期に進めることにします。

建設費の増も見込めますが、今年度予算の範囲内で1月に発注し、着工していきます。まずは早期に工事にかかっていく中で、必要

な工期については相談していきます。

矢澤議員

Q 現在計画位置はスクールバスの乗り降り場所だ。建設後の利便性は考慮したのか。

A スクールバスの乗降スペースが狭いので、さらに検討していきます。

Q 町の体制変更における計画の引き継ぎは。

A 子どもの居場所として他町村の例を参考に設計準備をしてきたことや、議会に鉄骨構造のプレハブについてなど説明してきました。も引き継いでいきます。

松原議員

Q 将来的に利用の見込みはあるのか。

A 放課後の子どももの過ごし方にはいろいろ

あります。空き教室の活用も出てくると思われませんが、学校は時間で閉めるので、その後迎えるまでの時間を過ごす場所としても必要となります。

近藤議員

Q 設計委託はいつ発注したか。

A 7月から8月に場所の再検討をし、8月中旬以降に設計準備、9月12日に設計監理業務を発注しました。

Q 町としては木造で作るのが本来なのでは。

A 鉄骨で広さを確保して作るということや、費用、工期などからプレハブ工法になっっています。

早川議員

Q 登録料を安くして、5時以降の利用者に負担を求めるのが普通ではないか。親の事情で

預けている状況を検討できないか。

A 放課後子ども教室という呼び名は、国の制度では放課後の学校が閉まるまでの子ども

の過ごし方への支援です。5時以降は、保護者が責任を持つ時間帯でありその費用負担については検討が必要と思います。

Q サポーターの人数は決まっているか。

A 放課後教室は約20人に1人という配置ですが、支援が必要な児童への配慮は現在のサポーター体制ではできず、加配も必要です。

意見 現状は1人で8人から22人と幅がある平均的な配置になれば目ごととき安全になるのでは。

高橋議員

Q 建物をまとめ、広場は広くということ

音楽室のすぐ北側にと
いう案はなかったか。

A 体育館の入口で、給食棟への車両の出入りや配管などもあり、当初からありません。

北原議員

Q 建物について町長の方針は変わらないと
考えて良いか。

A 今の予算で1月上旬に発注し、図面の内容は予算の範囲内で検討し、その上で必要なことは改めて協議をお願いしたいです。

Q 子育て支援センターが出来るときの架け橋と考える。

A 学校のトイレを使うと聞いていたが。

A 体育館のトイレでは冬の寒い時期も含め大変で、男女の区別の配慮が必要です。

Q 設計は2千万円以内ではなかったのか。

これではほとんど工
費が増す。

A 放課後教室だけでなく、児童クラブとしての位置づけにおいてトイレなど最低限の設置が必要と考えます。増工も見込まれていますが、コスト縮減も検討していきます。

坂本議員

Q 今年度発注で、資材調達は間に合うのか。

A 調達の困難さは変わらないが、1月発注すれば、6月末には完成できる予定です。

Q 施設が空いている時の活用は。

A 午前中、日曜日など利用のない時間帯の地域での活用は考えていきたいです。

伊藤議員

Q 南木曾会館は蘭、広瀬や田立からは迎え

に都合が良いが、現状は会館では無理がありこの計画に至ったことは理解した。

位置は体育館北側が収まり良いと思うが、広場のど真ん中の建物を子どもたちがどのように見るのか。

A 5時を過ぎてここで待つ子どもが増えると思います。安全管理を配慮し、また、日当たりの良い真ん中を考えました。

赤坂議員

Q 新築だが中古はなの
のか。

A 建物自体の中古については慎重にしたいが、備品類は今あるものや中古を含め検討します。

山崎議員

意見 前回の全協では、仕切り直して次年度へという協議であった。議員からは早急にとい

う意見があり今回の提案となつている。決まった以上は粛々と安価で早く進めていきたい。

運営については受益者負担も考慮し、5時以降の有料保育も考えていく必要があると思う。

防災行政無線設備
備デジタル化
更新工事

説明

防災行政無線設備デジタル化更新工事について、平成28年度は、事業費1億3477万3千円で、親局設備更新、中継局設備更新工事など実施しました。平成29年度は事業費1億7440万円で、戸別受信機更新工事など実施します。

また、細野山中継局ドア工事は、9月定例会で工事金額が高いとの意見があり、地元業者へ見積もりを依頼し工法についてもアドバ

イスを受けた結果、新しく枠を取り付けるカー工法に変更すると、約30万円減額となります。減額分は周辺の雑木伐採費に充てます。

早川議員

Q 地元業者の方がより良い設計とは如何なものか。30万円の部分の扱いは。

A 28年度予算に入っています。

近藤議員

Q カー工法ではコンクリートを研る必要もなくもつと安価になるのではないか。

A 地元業者と設計業者で見積もり合わせをした結果です。

多目的集会施設
等の設置に関する
条例等の改正

説明

町が設置・管理する集会所施設と区等が独自に設置・所有する集会所について、同じように管理できるように、区が所有管理する集会所については、行政区に一ヶ所を基本に指定し、町所有の集会所と同様に整備ができるようにするものです。

主に名称等の整理を中心に改正し、整備及び管理方法を見直し、整備の内容に防災・減災対策事業と修繕事業を追加します。

新たに、集会所の水洗化工事を公平に扱うため補助金交付要綱も制定します。

坂本議員

Q 地区集会所の修繕事業は区所有集会所と同じく80%の補助か。

A 建物老朽化、防災、減災の面から基本的には100%町が負担しています。

Q 水洗化工事の補助対象は。

A 浄化槽本体とそれに付随する工事のみ対象となり、それ以外のトイレ等は補助対象とはなりません。

地方創生事業の交付金内示

説明

28年度から30年度の事業内容は①歴史のある南木曾ろくろ②未活用の森林資源③妻籠宿・中山道などのインバウンド資源を活用し、定住・移住促進につなげていくもので、事業総額3160万円です。28年度の事業内容は、搬出間伐のための基礎調査と移住定住促進WEBサイトの創設で、事業費1830万円の内、交付金内示額は7



作業道開設による森林整備
(与川日陰ボラ町有林)

90万円です。

早川議員

Q 南木曾ろくろのブランド化とは何か。

A 外部専門家を招き戦略的な販路拡大と宣伝強化を行い、更なるブランド化の浸透を図ります。

松原議員

Q 搬出間伐の基礎調査期間は。

A 調査は今年度のみです。

坂本議員

Q 搬出間伐の基礎調

査や間伐材の活用方法を研究するための研究の内容は。

A 現時点では具体的にはなっていないかもしれませんが、平成29年度には研究を推進していく予定です。

近藤議員

Q 木材利用の研究にバイオマスも入っているか。6月議会で報告のあった小規模バイオマス発電の計画は。

A 現段階では、研究の対象として考えていません。

バイオマス発電の燃料となる木材チップの調達がネックとなっており、難しい状況になってきている。今後は、規模は小さくても新ボイラーの研究も進めたいです。

臨時福祉給付金

説明

低所得者に対し、消

費税率引き上げによる影響を緩和するための給付金で、平成28年度分の町民税が課税されていない方を対象に、1名につき1万5千円を給付するものです。申請受付期間は、平成29年3月中旬から6月中旬の予定です。

上下水道審議会 答申

説明

9月29日の上下水道審議会で、上下水道手数料等の改正についての諮問と答申がありました。

◆答申結果概要

①上下水道の基本料金及び超過料金の改定の検討をH29年度に行う。

②下水道事業等は簡易水道事業の「特別な場合の料金の算定」を適用しない。

③新設・再開手数料を引き上げる。引き上げは平成29年4月1日から実施する。

◆今後の料金改定

各特別会計への繰入金が増加傾向で、一般会計へ大きな影響を及ぼすことが予想されま

す。上下水道事業の健全運営のため、施設管理費等の経費削減の取り組みと、料金の見直しが必要です。

平成29年4月は手数料改定のみとし、料金改定については、平成29年度以降に経営戦略等を参考に検討します。

上下水道事業経営戦略の素案の提示

説明

人口減少社会の到来により、上下水道の改良・更新需要への対応あるいは災害対策等の推進など経営環境の厳しさが増す中で、将来にわたって安定的に事業を継続するため、中長期的な視点に立った徹底した効率化・経営健全化に取り組む必要

いじめ防止対策基本方針(素案)

説明

町では、いじめ防止対策推進法、長野県いじめ防止対策推進条例及び長野県いじめ防止等のための基本的な方針に基づき、平成27年12月に南木曾町いじめ問題対策協議会条例を制定し、平成28年11月に第1回協議会を開催しました。

町ではこれまでいじめ対策として学校の対応力の向上や相談体制の充実に取り組んできましたが、今回、

「南木曾町いじめ防止等のための基本的な方針」を定めることでその取り組みを一層進めるもので、教育委員会から方針(案)の内容説明を受け、協議を行いました。

北原議員

Q 協議会委員15名の中に女性が一人も入っていないのはなぜか。

A ご指摘のとおりです。今回の委員の構成は役職の代表者にお願いをしました。女性委員も必要であり、任期満了の2年後にはPTA代表の母親委員の方に入っていただく等考えます。

松原議員

Q 南木曾町いじめ防止等のための基本的な方針の資料の中の対象児童・生徒は小中学校とあるが、協議会委員の中には蘇南高校の校長先生やPTA会長も

入っており、高校生も対象にすべきでは。

A 今後検討します。

坂本議員

Q いじめ問題を町全体で取り組むのであれば、住民も含めて方針の検討をしていく必要があるのではないか。

A 国・県の基本方針に基づき組み立てています。地域との連携は各代表に参加していただく中で地域へ発信していくようにしたいと思います。

Q この条例、方針は教育現場に限定されるものか。

A 限定されませんが、背景には大人社会の問題も秘めており、今後検討が必要です。

矢澤議員

Q 子どものいない地域もあり、この問題は

学校、PTAだけの問題ではなく、公民館も含み地域全体で取り組むものではないか。

A いずれは、地域、町全体で取り組みたいと思っています。

平成29～31年度実施計画

説明

平成29年度から31年度の3年間の町の実施計画が示されました。町は、国の平成29年度予算と28年度の補正予算の動向を見ながら町の総合計画、自立推進計画、及び地方創生総合戦略などに基いた実施計画で事業を進めていきます。

矢澤議員

Q 妻籠分館建設の進捗状況は。

A 現在、具体的な案を配置図に基づいて協議しています。また、

旧妻籠中学校の保存については、地域住民の意見も参考にお聞きしていきます。

松原議員

Q 総合グラウンドのテニスコートの跡地利用は、どのようになっているか。

A 芝生を植えるなど、広場として活用したいと考えています。



渡島テニスコートの現況

近藤議員

Q 広域のケーブルテレビの経営が困難なため、広域の負担分を町が基金から支払っているが、金額と支払う期

間はいつまでか。

A 全体で約4千万円となり平成31年度に終了します。

意見

将来的に使用料の値上げにならないようお願いする。

早川議員

Q 公用車の購入については、リースか購入かの検討はしているか。

A リースの方が経費は高いですが、メンテナンスなども含まれており、職員の負担も軽減されるため、半々の割合としています。

坂本議員

Q 川向の大洞橋調査は、橋を新規に付け替えるのか。

A 当面は補修を行い、第3期の橋梁長寿命化計画の中で、現橋の架け替えについての調査を行うためのものです。

議会の傍聴にお越しく下さい

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開催されます。
 詳しい日程などについては、音声告知端末放送、ケーブルテレビなどでお知らせします。
 ※12月の議会は、2日間で10人の傍聴がありました。

坂下病院問題 議会からの報告

南木曾の地域医療について要望書を提出

— 12月14日：長野県、15日：厚生労働省 —

みなさんの願いを携えて

●要望活動のあらまし

12月14日から15日にかけて県議会、県保健福祉部、厚生労働省の医政局、地元の国会議員などを訪問し、南木曾町と木曾地域の状況を直接説明し、町と議会の要望書を提出してきました。

これは、8月6日の町と議会合同の坂下病院に関する説明会、11月19日の議会主催の住民懇談会、および議会への陳情などによる住民の皆さんの切実な要望に応えたものです。

議会議員全員と町長と住民課長が町のマイクロバスに同乗しての県と国への要望活動となりました。

●長野県と県議会への要望

県議会では、下沢副議長へ、保健福祉部では山本部長らへ直接要望書を渡し、短時間でしたが懇談することができました。

懇談では、県境の南木曾町は頼りにしている隣県の坂下病院が診療所化されると木曾病院・市民病院への距離や通院手段からして、特に高齢者の通院が困難になり、受け入れ可能病床数などからも「医療難民」が出る恐れがあること、医師確保は緊急の課題であることなど、危機的な状況を説明して坂下病院の総合病院としての機能を維持して欲しいとお願いしました。

「県への要望事項」:

医師確保を含めた木曾地域の医療提供体制について、県境の地域事情を考慮した支援の充実を求めます。

●厚生労働省への要望

厚労省では、厚労大臣宛ての要望書を提出しました。後藤衆議院議員の計らいで、地域医療構想に携わっている医政局の神田局長と懇談し、町を含む地域の実状を直接訴えることができました。

ここでも、医師確保に迫られていることや、県でもお願いした県境での事情などを説明しました。

また、医政局長は木曾と中津川市について、「長野県と岐阜県の地域医療構想においては、県境の状況を考慮することになっている」との認識を示していました。

「国への要望事項」:

- ・ 中心市街地から離れた公立病院等、医師不足地域に対して勤務を継続する制度創設など、医療人材の確保をお願いします。
- ・ 高齢化が著しい中山間地域などの「命の砦」となっている医療機関や拠点病院について地域活性化や地方創生の観点からも必要な財政支援をお願いします。

●衆議院議員会館での要望活動

衆議院議員会館では長野県4区の後藤代議士と懇談し、神田医政局長との面談の手配をしていただいたことへの御礼と、県や国へ提出したと同様の要望をしました。

●今後の対応

中津川市の新公立病院改革プランについては、12月21日に市長が基本方針を発表しました。

平成30年度の姿として、現在ある診療科の存続、坂下病院への老健施設の移転、それに伴う急性期病棟の閉鎖、療養病棟の存続などが示され、経営改善や医師の状況などから見直しを図るとしています。

議会としてはこの発表内容について検討し、町と今後の対策を見出し、合同の報告会の開催など迅速な対応を行う予定です。

(注) 地域医療構想

厚労省のガイドラインに基づき、都道府県が独自に将来の人口動向などを推計して必要な医療体制と必要な病床数などを策定するものですが、拘束力はなく、病床数などの「新公立病院改革プラン」を決定するのはあくまで公立病院を運営する自治体が策定するものです。

編集後記

11月に議会による住民懇談会を開いた際に、「議会だより」についても、ご意見をいただきました。議会活動も分かりやすく伝えることや、ホームページの活用不足など、議場に足を運べない方々への情報発信への工夫が必要ななどのご指摘です。

4月に新しくなった編集委員会も新年を迎えました。さらに精進をと思つてご意見を寄せ下さい。

議会報編集委員

坂本 満(記)
近藤 隆
伊藤 寿子